

## 土木学会 鋼構造委員会

### 新しい高性能鋼材と利用技術に関する調査研究小委員会

---

#### 【活動予定期間】

2007 年 5 月 ～ 2009 年 11 月 (2 年間 6 ヶ月)

<本委員会は、2009 年をもって活動を終了しています。>

#### 【活動の目的】

新しい高性能鋼材として従来より強度、じん性、溶接性に優れた鋼材の活用について内外にて研究、開発、実用化が進められつつあり、国内では、降伏強度 500MPa 級及び 700MPa 級の溶接構造用圧延鋼材 (BHS500, BHS500W, BHS700W) の提案がなされ、一部の橋梁で高強度と良好な製作性を活かして採用が計画され始めている。

しかしながら、このような新鋼材についての設計や製作に関する技術基準類はまだ一般化しておらず、広く活用することができる基盤の整備が望まれる。また、実橋に採用した事例やメリットに関する技術知見も知られていない。そこで、新鋼材に関する設計法、製作基準、設計例などを調査収集し、有用な技術情報として発信することを目的とする。

#### 【活動状況】

第 11 回：平成 21 年 5 月 29 日 (金) 14:00-17:00 新日鐵会議室

議 題：設計 WG、製作 WG

第 12 回：平成 21 年 7 月 14 日 (火) 14:30-17:00 土木学会 D 会議室

議 題：報告書策定に向けて

第 13 回：平成 21 年 9 月 17 日 (水) 14:30-17:00 土木学会 D 会議室

議 題：講習会開催、報告書策定に向けて

幹事会：平成 21 年 10 月 6 日 (火) 15:00-17:00 新日鐵会議室

議 題：報告書 (BHS 鋼設計施工指針(案)含む) 読み合わせ

#### 【今後の活動計画】

新しい高性能鋼材の利用技術に関する講習会

平成 21 年 11 月 5 日 (木) 13:00-17:00 土木学会講堂 (参加者に報告書配布)

#### 【目標成果】

委員会報告書として高性能鋼適用のガイドラインを作成することを目標とする。

新しい高性能鋼に関する、設計、製作基準に関する調査研究と設計例の作成、最新技術情報の収集と情報発信を行う

## 【PRポイント】

「鋼材の高性能化は、鋼橋の品質、経済性、耐久性を含む橋としての性能向上に貢献するか？」を切り口とし、新しい高性能鋼に関する最新技術情報、設計・製作に関する知見と設計例を纏める。

新しい高性能鋼材として、日本鉄鋼連盟から JIS 規格化を提案し、H20.11.20 に「JIS G 3140 橋梁用高降伏点鋼板」(SBHS500,700)として制定された。

今年度(10月頃)、活動成果を報告書「高性能鋼適用のガイドライン」(設計にあたって参考となる資料、指針的なもの)として出版、講習会を開催する。

## 【構成委員】

委員長	本間 宏二
幹事長	小西 拓洋
委員	市川 篤司
委員	岡野 重雄
委員	織田 博孝
委員	川野 晴弥
委員	慶 甲秀
委員	齋藤 聡
委員	渋谷 敦
委員	白旗 弘実
委員	鷹羽 新二
委員	武野 正和
委員	多田 賢
委員	田中 睦人
委員	千葉 照男
委員	中村 和己
委員	藤井 堅
委員	藤原 良憲
委員	保坂 鐵矢
委員	山口 栄輝
委員	渡邊 秀貴
連絡幹事	酒井 修平